

第29回全日本少年軟式野球大会

感想文原稿用紙

(チーム名) 桐蔭学園中学クラブ

(氏名) 高橋 将貴

この度、開催地代表として横浜スタジアムで行われた全国少年軟式野球大会に出場しました。桐蔭学園野球部はいつの代被認知目標と目的があります。目標は『日本一』、目的は『周囲の人達や学園全体、そして横浜市民に感動を与える事』です。今大会、残念ながらこれらは果たせませんでした。しかし、自分の中で後悔はありませんでした。それはここまで来るために、チーム一丸となることで同じ目標・目的に向かい、普段の日々を過ぎてしまふ一瞬の仲間との頑張りが財産として残つてきます。だからこそ、悔しい思いはいいはい、はいあります。ましたが、試合終了後の自分の目には涙がありました。この大会に参加した事でのメリットは、開催地ならではの応援だと思いました。出場全16チームの中で、一番の応援だったと今の自分に胸を張って言えます。自分は、今まで桐蔭を応援し、支えてくれた人達に心から感謝をして、この思いを次のステップでも生かしていきたいと思します。

100  
200  
300  
400

ご協力ありがとうございました。

## 第29回全日本少年軟式野球大会

感想文原稿用紙

(チーム名) 桐蔭学園中学夜行T

(氏名) 青木 純哉

自分たちは8月20日から行われる、全日本少年軟式野球大会に向け、日々日本一を目指し全力で練習してきました。自分たちが入部してから、この2年半ほど、といふ間に上場させていただきました。毎年毎年、先輩たちの背中を追いかけて、併びてきました。先輩たちが目標としている日本一には恵まれませんでした。だから自分たちが相應草園という名を背負って絶対に日本一に食らいこなす覚悟で、とにかく強い気持ちで全国へと向かってきました。全国大会前、一千人くらいでいくつも取り組んで、しっかりと野球で日本一に突き進むだけという万全の状態で挑戦しました。全国大会では113人は方々応援をしてくださいました。彼らの力が分かりました。その後千人で初戦で負けてしましました。最後の大戦でしろけれども悔ひほんぐさん勝ちました。その悔いを今後、自分へ野球人生に活かしていくことを誓いました。

ご協力ありがとうございました。